

私の心の闇は、底がない。



モーターのそばには  
濁った河があり、  
泊まり客には  
特別なサービスが  
ついていた。

# 沈みゆく女

2000年ベネツィア映画祭、トロント映画祭、ロッテルダム映画祭出品作品

リン・ストップケウィッチ監督作品

モリー・パーカー『ひかりのまち』『キスト』 カルム・キース・レニー『メメント』 ジョエル・ピソネット『ファイトクラブ』

後援：カナダ大使館 原作：ローラ・カシシュケ『沈みゆく女』（角川書店BOOK PLUS刊） 2000年カナダドルビーデジタル/1:1.85/92分 配給：シネカノン [www.cqn.co.jp](http://www.cqn.co.jp)

Suspicious River a SUSPICIOUS FILMS production produced with the participation of TVA INTERNATIONAL a film by LYNNE STOPKEWICH

starring MOLLY PARKER CALLUM KEITH RENNIE produced by MICHAEL OKULITCH & RAYMOND MASSEY screenplay by LYNNE STOPKEWICH from the book by LAURA KASISCHKE  
director of photography GREGORY MIDDLETON CSC editor ALLAN LEE production designer DON MacAULAY composer DON MacDONALD sound design by JAMES GENN distributed by CINEQUANON

# 「昨日、初めてお金のためにセックスをした」

カナダ、バンクーバーのひなびた田舎町にあるモーテルで、主婦レイラはフロント係を勤めている。それは9月のこと、初めてレイラはモーテルに泊まりにきた客を相手に、部屋の値段と同じ額でセックスをした。その翌日も同じように、彼女はモーテルでお客をとった。やがて噂を聞きつけた男たちがレイラを訪ね、モーテルにやってくるようになる。レイラはセックスでお金を得る自分を、時に客に殴られる自分を不幸だとは思わない。客のひとり、ゲイリーはそんなレイラに夢中になり、彼女と一緒に町を出ようとする・・・。

## 主婦レイラが持っていた、もうひとつ別の顔。

レイラはなぜモーテルで客を取りつづけたのか。ゲイリーとは一体何者なのか。レイラの母親はなぜ、伯父のそばで突然命を落とさなければならなかったのか。この小さな何も無い町にしまいこまれた、レイラだけが知らない事実。やがて彼女はただひとり心を許す少女の存在に助けられながら、迷い込んだ河向こうの森で封印されてきた母親の記憶を開いてゆく・・・。セックスが人間の本能的な暴力をひきずり出し、壊し、壊されたいという互いの衝動がぶつかり合う。レイラが抱える心の深い暗闇が、現代を生きるすべての女性の心の奥につながっていく。彼女はいつか、自分の心の迷宮から逃れることができるのだろうか。

モリー・パーカーでしか成し得なかった官能に息をのむ。——ヴァラエティ誌



人はときに、不幸へと誘われたがる性質がある。——春日武彦（精神科医）

## その衝撃、そしてエロスが鏡となって現代を映し出す。

ネクロフィリア（屍体愛）をテーマにした鮮烈なデビュー作『キスト』につづいて人間の隠された欲望や、生の本質へと切り込んでみせるのは、カナダを代表する女性監督リン・ストップケウィッチ。原作は、アメリカの女性作家ローラ・カシシュケの長篇第一作。レイラの生い立ち、結婚生活やモーテルの勤務をめぐるあまりに衝撃的な物語は賛否両論を巻き起こしながらも、現代に生きる女性の深層心理を突いた視点、表現力を絶賛されている。ストップケウィッチ監督はその原作をよりエロティックに、より大胆にひとりの女の冷たくて熱い官能と心の迷宮を描き切った。主演のモリー・パーカーは今回のセンセーショナルな役柄を独特の存在感と渾身の演技で演じ、また、主人公レイラのガードリアン・エンジェル（守護天使）という役どころを見事に演じたメアリー・ケイト・ウェルシュはスクリーンデビューとなった本作で、その天性の演技力を見せつけている。

女性の深層心理を強烈に浮き彫りにした衝撃の1作。  
あなたの心に、この物語はどこまで踏み込んでくるか？ —— オブザーバー紙

2000年ベネツィア、トロント映画祭、2001年ロッテルダム映画祭正式出品 リン・ストップケウィッチ監督作品 出演:モリー・パーカー「ひかりのまち」『キスト』 カルム・キース・レニー「メント」 ジョエル・ピソネット「ファイクラブ」  
監督:リン・ストップケウィッチ 脚本:リン・ストップケウィッチ 撮影:グレゴリー・ミドルトン プロダクション・デザイン:ドン・マコーレイ 音楽:ドン・マクドナルド 挿入曲:カウボーイ・ジャンキーズ「Draggin' Hooks」  
協力:カナダ大使館 原作:ローラ・カシシュケ『沈みゆく女』(角川書店BOOK PLUS刊) 字幕翻訳:松浦美奈 2000年/カナダ/ドルビーデジタル/1:1.85/92分 配給:シネカノン www.cqn.co.jp

レイラの無機質なエロチシズムは、同じ仕事に手を染めた東電OLを彷彿とさせた。  
彼女は赤春で溜め込んだドル紙幣を無造作に扱いながら、それでもうっとり匂いを嗅ぐ。  
哀しいほど官能的なこのシーンが、東電OLの心の闇を瞬時に照らし出しているようだった。

佐野真一さん(ノンフィクション作家「東電OL殺人事件」)「東電OL症候群」

官能と衝撃が胸を突く! 2002年2月中旬ロードショー

特別鑑賞券1,500円(税込)発売中

窓口でお買い求めの方、官能的な気分を味わえる  
セクシャル・インセンス(お香)をプレゼント!(限定200個)

シネ・アマムズ

CINE AMUSE  
EAST & WEST

渋谷・文化村通り東急本店前 フォンテニスビル 4F  
Tel.03-3496-2888 [自由席・各回定員入替制]